

第2回 横浜市戸塚区地区センター及び横浜市戸塚公会堂指定管理者選定委員会議事録 (戸塚地区センター及び戸塚公会堂)	
日 時	平成27年8月27日(木) 9時30分～12時
開催場所	戸塚区役所8階 中会議室2
出席者	常盤委員長、大崎委員、柴田委員、吉田委員、藁科委員 区)地域振興課長 高嶋 区民利用施設担当係長 加藤、栗原、古尾谷
欠席者	なし
開催形態	公開(傍聴者3人) 審議については、非公開
議題	1 定足数確認 2 申請団体によるプレゼンテーション及び質疑応答 3 審議
決定事項	1 定足数の確認 委員全員が出席のため、委員会は成立 2 横浜市戸塚区地区センター及び横浜市戸塚公会堂指定管理者の候補者について 最低評価基準の7割以上を超えたことを確認し、「公益社団法人とつか区民活動支援協会」を指定管理候補者として区長に報告をする。
質疑応答	①「株式会社 有隣堂」によるプレゼンテーション10分を実施 【質疑応答】 委員) 地域イベントをどのように地域と協働していくのか具体例を教えてください。 団体) 今年度、区と学校と連携してビブリオバトルを実施予定。 他区運営の地区センターで、キャンドルナイトを地域の父たちの発案で実施した。 委員) 専任コーディネーターについて詳しく教えてほしい。その実現性は。 団体) 週3日、これから地域活動を始めたい人に情報発信をしたり、相談窓口を担ってもらう。地域のコーディネーターになれる人材育成も行う。戸塚図書館のカウンター業務委託を行っている中で人材候補を見つめている。 委員) 利用者の潜在的ニーズの把握や情報収集方法をどのように考えているか。 団体) SNSを活用し、マスコットキャラクターのブログやツイッターで情報発信をしたり、周知イベントとしてダンスフェスタなどを実施して認知度を高めるなどを考えている。 委員) 利用料収入の他にその他収入が多い予算となっているが、増やす手段としてどのようなものを考えているのか。 団体) 初年度は入場料等は考えていない。付属設備の利用料も過去の実績で算定。 委員) 地域活動の拠点としてどう考えているのか。 団体) 地区センターは、地域の方に利用してもらう施設、自主活動として活用してもらう施設と考えている。営利のみは追求しない。自治会町内会等に出向き、ニーズや何に困っているかを伺いながらコンセンサスを得ていきたい。

②「共同事業体NPOみんなのまちづくりクラブ・NPO建物管理ネットワーク」によるプレゼンテーション10分を実施

【質疑応答】

委員) NPOみんなのまちづくりクラブは上矢部地区センター運営のために設立されたものか。

団体) 上矢部のためではなく、区民利用施設の指定管理をしたくて設立。戸塚地区センターは3回目の応募。

委員) 利用促進策として「地域市民参加型委員会の立ち上げ」とあるが、詳しく教えてほしい。

団体) 地域市民参加型委員会を定期的に開催し、各層の人に呼びかけ、いろいろな意見を聞く。利用者や講師にも入ってもらい、意見を聞く。

委員) 人件費、事務経費の削減の根拠は。

団体) 3館合築の施設管理には専門的要素が必要。外注委託をせずに共同体なのでそれぞれの長所を生かしながら経費節減を実現できる。

委員) 事務局に常時何人配置予定か。

団体) 館長、副館長、職員4人のほか、清掃スタッフを含め10人以上。ただし、ローテーション勤務。

委員) 当日予約で空き部屋が半額利用できるが、需要はあるのか。

団体) 上矢部地区センターでは、音楽室は利用料が高く、大会議室は全面利用だと高いので反面利用の予約をした団体が当日利用だと半額なので全面利用に変更したりと実績がある。

委員) 公会堂についてのプレゼンが少ないがもう少し話を聞かせてほしい。

団体) 昔から使い続けられている施設。舞台ピアノの貸し出しを考えている。その他、みんなが楽しめる事を企画していく。

委員) 地区センターがコーディネートして市民活動をバックアップしているのか。

団体) 子どもまつり、男の料理教室などサークルの人数が減ってしまいがち。地区センターで体験教室や自主事業を実施して、既存・新設のサークル活動につなげていく。

③「公益社団法人とつか区民活動支援協会」によるプレゼンテーション10分を実施

【質疑応答】

委員) 満足度調査で不満のある人はどういう意見を持っているか。

団体) 施設が老朽化しているので、空調が故障したときなどに利用した方からは不満の声を聞く。

委員) 駐車場有料化は利用者側からの声なのか。

団体) 38台を3施設で利用して現在は無料となっている。利用者でない人が止めてしまい、利用者の方が使えないという声もある。お客様の声の反映と増収策の両面から考えた提案である。

	<p>委員) 利用していただくのではなく、利用者が運営・実行していくものはあるか。</p> <p>団体) サークル活動の方々がミニコンサートやイベントなどの発表をしている。今後、商店街等と連携をし、施設外で活動をする機会を設ける予定。施設外でのPRが活性化に繋がると考えている。</p> <p>委員) 特定費用の積立は何に使うのか。</p> <p>団体) 昨年度は神奈フィルコンサートを開催したが、費用がかかるので計画的に積立、実施に充てていきたい。</p> <p>委員) 今の利用者以外の潜在的なニーズについてどう考えているか。</p> <p>団体) 現在は高齢者の利用が多い。今後は、子育て中の方などには預かり保育を併設したイベントを実施したり、公会堂は企業等の利用をPRしていき稼働率アップを図っていきたい。</p> <p>委員) 横に繋ぐコーディネーター的役割をどう考えているのか。</p> <p>団体) 中間支援組織としての一つの役割と認識している。区民活動センター、地域ケアプラザ、地区センター等と連携を図っていく。</p> <p>委員) 気軽に集う場があるので、何かが生まれてくるので、サロン的な場所を提供するのか。</p> <p>団体) 今の情報コーナーを活用することを考えている。</p> <p>委員) 地区連合町内会への参加は考えているか。</p> <p>団体) 現在、地区連合町内会の会合には出ていないが、地区センター便りの配布をお願いしたいと考えている。今後は地区連合との連携を深めていきたい。</p>
特記事項	

第2回 横浜市戸塚区地区センター横浜市戸塚公会堂指定管理者選定委員会議事録 (東戸塚地区センター)	
日 時	平成27年8月27日(木) 13時~14時50分
開催場所	戸塚区役所8階 中会議室2
出 席 者	常盤委員長、大崎委員、柴田委員、吉田委員、藁科委員 区) 地域振興課長 高嶋 区民利用施設担当係長 加藤、栗原、古尾谷
欠 席 者	なし
開催形態	公開(傍聴者2人) 審議については、非公開
議 題	1 定足数確認 2 申請団体によるプレゼンテーション及び質疑応答 3 審議
決定事項	1 定足数の確認 委員全員が出席のため、委員会は成立 2 横浜市東戸塚地区センター指定管理者の候補者について 最低評価基準の7割以上を超えたことを確認し、「公益社団法人とつか区民活

	動支援協会」を指定管理候補者として区長に報告をする。
質疑応答	<p>①「株式会社 有隣堂」によるプレゼンテーション10分を実施</p> <p>【質疑応答】</p> <p>委員) 活動の成果として地域を活性化させた事例を教えてください。</p> <p>団体) 港南台地区センターで図書整備等を進め、図書貸し出しが本市1位となった。 また、同地区センターで図書館の本を取り次ぐサービスを来年1月からスタートする。</p> <p>委員) ニーズを捉えてサービスを提供することは良いが、住民の参画をどのようにしていくのかを教えてほしい。</p> <p>団体) 子育て支援サービス、ベビーカーの整備、物々交換等、赤ちゃんと母親が参加できる仕組みを考えている。</p> <p>委員) 企画段階からの住民の参画について何か考えているか。</p> <p>団体) 地区センターまつりで新旧住民の交流の場、自治会参加の場、小学生に発表の場、マーチングバンド等に参加してもらうを考えている。子育てをしながら孤独にならないよう顔を繋いで、サークル化などをコーディネートする。</p> <p>委員) デジタルサイレージの利用で企業広告の協賛などの実績はあるか。</p> <p>団体) 地区センターでは、出版社のPRで協賛をもらったことはあるが、デジタルサイレージでの協賛という形ではない。店舗での実績はある。地元情報を無料で流すのは良いかもしない。 今後、地区センター祭りなどでお試しという形で協賛から始めることはあるのかもしれない。</p> <p>委員) 自分たちが引き継いだ時に、こう変わるというアピールをお願いします。</p> <p>団体) 雰囲気。笑顔あふれるような地区センターになるとを考えている。</p> <p>委員) 東戸塚は自治会がないマンションが多い。そのようなマンション居住者に、どのように地域と連携を図っていこうと考えているのか。</p> <p>団体) 区役所の協力をいただけるようなら転入時に利用案内チラシを入れたり、マンションにポスティングして告知する。SNSやHPなどのツールも使う。</p> <p>②「公益社団法人とつか区民活動支援協会」によるプレゼンテーション10分を実施</p> <p>【質疑応答】</p> <p>委員) 東戸塚の地域コミュニティづくりで新旧住民を対象とした防災の企画に関する事例を教えてください。</p> <p>団体) 子どもの事故予防の企画を年に2回行っている。</p> <p>委員) 地域コミュニティの醸成について何か考えているのか。</p> <p>団体) さまざまな世代に有為な人材を生かした講座の実施等を考えている。</p> <p>委員) これまでと変わり、これから5年間に向けての工夫を教えてください。</p> <p>団体) これまででは高齢者向けの健康づくりや趣味づくりに取り組んできた。今後は子育て支援について取り組む。課題を抱える青少年支援策として学習支援担</p>

	<p>い手を養成する講座に今年度から力を入れている。</p> <p>委員) 指定管理料上限を意識して予算立てをしたのか。</p> <p>団体) 平成26年度まで実績ベースで予算立てをした。</p> <p>委員) ロビーの利用は誰でも利用できるのか。</p> <p>団体) ロビーと2階娯楽コーナー、図書コーナーも利用可。</p> <p>委員) プレイルームの隣が学習スペースだったりしているが、管理上意識していることはあるか。</p> <p>団体) 勉強熱心な子が多いので、グループ室やロビーを開放している。ロビー以外での飲食は禁止。プレイルームは親子のみの利用なので見回りしている。</p> <p>委員) 療育センターと3つの合築施設だが、連携事業はあるのか。</p> <p>団体) 療育センターとは連携はない。ケアプラザとは情報交換している。川上保育園、東戸塚地域活動ホームひかりと地区センター祭り等を通じ、障害について理解を促進するような活動をしている。</p> <p>委員) 地区センターのサークルが療育センターに手伝いすることはないのか。</p> <p>団体) 3館で情報交換をしている。24、25年度はのびのび親子を実施。ケアプラザとの連携で親子交流を実施。</p> <p>委員) スケールメリットとあるが具体的には。</p> <p>団体) 複数の地区センターを持つことは大きい。地域に行くのは地区センター、事務局はスケールメリットを生かして効果的に総合的な事務を遂行するなど分業が図られる。</p> <p>委員) 自治会町内会の組織率の向上に向けて、各自治会町内会に地区センターから出向くことを考えてほしい。</p>
特記事項	

第2回 横浜市戸塚区地区センター横浜市戸塚公会堂指定管理者選定委員会議事録 (大正地区センター)	
日 時	平成27年8月27日(木) 15時~16時45分
開催場所	戸塚区役所8階 中会議室2
出席者	常盤委員長、大崎委員、柴田委員、吉田委員、藁科委員 区) 地域振興課長 高嶋 区民利用施設担当係長 加藤、栗原、古尾谷 局) 政策局共創推進課 有馬
欠席者	なし
開催形態	公開(傍聴者1人) 審議については、非公開
議題	1 定足数確認 2 申請団体によるプレゼンテーション及び質疑応答 3 審議
決定事項	1 定足数の確認

	<p>委員全員が出席のため、委員会は成立</p> <p>2 横浜市大正地区センター指定管理者の候補者について 最低評価基準の7割以上を超えたことを確認し、「公益社団法人とつか区民活動支援協会」を指定管理候補者として区長に報告をする。</p>
質疑応答	<p>「公益社団法人とつか区民活動支援協会」によるプレゼンテーション10分を実施</p> <p>【質疑応答】</p> <p>委員) 青少年支援の対象は。</p> <p>団体) 中学生をターゲットにしています。特に中学生の生活の乱れが見られる地域。小・中学校、警察と連携をとり、生活指導にあたっている。小・中学校 商店街等と連携して「大中生の心を育てる会」を結成している。</p> <p>委員) 部屋の稼働率の低さの原因は何か。</p> <p>団体) 駅から遠く、便が悪い。サークル活動も水曜日に集中している。広く使ってもらう取り組みを今後考える。 高齢者が多く、夕方外出が難しい人や車がないと夜間来る人の足がない。</p> <p>委員) 青少年支援の場所を設けるだけではだめで、子どもやりたいことの企画や工夫が必要ではないか。</p> <p>団体) 一階は、図書スペースを拡張して、幼児スペース、プレイルームを午後5時以降に小学生に解放する。子ども達の悩みをくみとれるよう傾聴機能を備えて関係機関につなげていく。地域ボランティア、「学家地」、「大中生の会」と連携していく。</p> <p>委員) 地域と連携して実施していることはあるか。</p> <p>団体) 学校・家庭・地域協働事業で大中生の心を育む活動を3回/月で開催中。</p> <p>委員) 社協を中心に大正地区は福祉分野で活発に活動をしている。そういう力を借りるのは難しいか。</p> <p>団体) 学校・家庭・地域協働事業で社協も入っているので一緒に活動している。</p> <p>委員) 子ども問題は親の問題でもある。家庭に問題を抱える子どももいるが、どのように対応するのか。</p> <p>団体) 地区センターは子ども達の居場所になっている。社会のルールを教えることもする。子ども達と地道な関係づくりが大切と考えている。</p> <p>委員) 夜間の自主事業としてボイストレーニングを実施したら一杯だったとの話だが、どういう方が参加されたのか。</p> <p>団体) 60～65歳の方や働く世代の方が多かった。</p>
特記事項	

第2回 横浜市戸塚区地区センター横浜市戸塚公会堂指定管理者選定委員会議事録 (倉田コミュニティハウス)	
日 時	平成27年8月27日(木) 15時55分～17時
開催場所	戸塚区役所8階 中会議室2

出席者	常盤委員長、大崎委員、柴田委員、吉田委員、藁科委員 区) 地域振興課長 高嶋 区民利用施設担当係長 加藤、栗原、古尾谷
欠席者	なし
開催形態	公開（傍聴者1人） 審議については、非公開
議題	1 定足数確認 2 申請団体によるプレゼンテーション及び質疑応答 3 審議
決定事項	1 定足数の確認 委員全員が出席のため、委員会は成立 2 横浜市倉田コミュニティハウス指定管理者の候補者について 最低評価基準の7割以上を超えたことを確認し、「社会福祉法人開く会」を指定管理候補者として区長に報告をする。
質疑応答	「社会福祉法人開く会」によるプレゼンテーション10分を実施 【質疑応答】 委員) 交流事業としてどのようなものがあるか。 団体) 体験できる文化祭、作品展、男の手料理から発展したそば処、明治学院大学や舞岡中の皆さんと協力した音楽発表会、コミハカフェなどがある。 委員) コーディネーターの役割はどういう人か。 団体) 今年度から採用した若い方。資格は特になく、地域の方を採用しました。子育て事業を中心コーディネートをしている。 委員) 貴法人はケアプラザの運営がスタートか。 団体) 障害者の作業所の運営、上倉田、下倉田ケアプラザの指定管理をしている。 委員) 法人の精神は何か。 団体) 社会福祉法人の分野は一般の方から見て敷居が高く感じるようだ。倉田コミュニティハウスはハブ的役割を担い、町の福祉的課題を専門家につなぐ役割になるとよいと考える。コンシェルジュ機能も担っている。 委員) カフェ的にふらっと来られる場所はあるのか。 団体) 交流ラウンジで週2回コーヒータイムを開催している。午後は小学生のたまり場になったり、3世代サロンのようなものになっている。 委員) 利用者層は。 団体) 女性だけではなく、一般男性も来る。中学生以降の高校生や大学生のとり込みが課題。来られない方の分析が必要。 委員) 一般男性はどうやって来るのが。 団体) 50~70歳代前の男性がいろいろな切り口で来る。蕎麦処コミハ庵には20人の男性が参加している。コーヒーチェーン店のバリスタが講師になったコーヒー研究会の卒業生は、当事者となって活動している。 委員) 居場所には、やりがいが必要で地域に役立ちたいという観点からも担い手づくりをしてもらうことが大切。 委員) 倉田地区には大わらじがあるが、わらじ作りなどの繋がりがあるか。

	団体) わらぞうりをつくる会、布ぞうりをつくる会などがあり、繋がっている。 他のもさまざまな会と連携を図っている。
特記事項	

第2回 横浜市戸塚区地区センター及び横浜市戸塚公会堂指定管理者選定委員会議事録 (舞岡地区センター)	
日 時	平成27年8月28日(金) 9時30分～10時30分
開催場所	戸塚区役所8階 中会議室2
出 席 者	常盤委員長、大崎委員、柴田委員、吉田委員、藁科委員 区) 地域振興課長 高嶋 区民利用施設担当係長 加藤、栗原、古尾谷
欠 席 者	なし
開催形態	公開(傍聴者1人) 審議については、非公開
議 題	1 定足数確認 2 申請団体によるプレゼンテーション及び質疑応答 3 審議
決定事項	1 定足数の確認 委員全員が出席のため、委員会は成立 2 横浜市舞岡地区センター指定管理者の候補者について 最低評価基準の7割以上を超えたことを確認し、「公益財団法人横浜YMC A」を 指定管理候補者として区長に報告をする。
質疑応答	①「公益財団法人横浜YMC A」によるプレゼンテーション10分を実施 【質疑応答】 委員) 農家もあり、都会的な部分と田舎的部分がある地域。地域のつながりや融和 をどう考えているか。 団体) 舞岡に誇りを持ってもらい、青少年と高齢者をつなげていきたい。朝市をや ったり、農業の方々と他の人の繋がりを担う。フィールドワークを使える プログラムを実施したい。 委員) 教育発達相談について具体的に教えてください。 団体) 保育園や発達障害などの事業部があり、教育相談ができるノウハウや人材を 派遣できる。 委員) 舞岡地区に拠点はあるのか。 団体) 現在、戸塚駅のYMC Aに南舞岡小エリアの子が来ている。戸塚保育園や学 童もある。 舞岡公園に田んぼを借りている。 委員) 国際理解交流イベントとは具体的にどんなものか。 団体) YMC Aは118国のネットワークがあり、特にアジア圏に強い。ジャイカ横浜 の地域交流事業を受託しているので、この事業と連携し、地元農家の人との

	<p>交流もしている。木原研究所や先進的な日本での田園風景は世界に通じる。</p> <p>委員) 地区連合とどのような関係を確立しようとしているか。</p> <p>団体) 地区センターまつり実行委員会に参画してもらう。他の地区では、保育園、民生児童委員、青少年指導員、地域ケアプラザと連携している実績があるので、防災訓練をはじめ、地域との関係づくりは、日常的に行っていきたい。</p> <p>②「公益社団法人とつか区民活動支援協会」によるプレゼンテーション10分を実施</p> <p>【質疑応答】</p> <p>委員) 舞岡ならではのもので、ソーセージやジャムなどがあるが、地区センターで行っているジャムづくりなどは地元のものを使っているのか。</p> <p>団体) 教室で地元のものを使い、地域との関係を持つようにしているが、ジャム作りに地元のものが使われているかまでは把握していない。</p> <p>委員) 農家を訪ねたり、歴史散策をしたり、農家の方と交流があつたら具体例を教えてください。</p> <p>団体) 歴史散策を実施する方々は現在高齢化しているが課題。農家との交流について、よいアイデア。若い農家との関係づくり等、今後考えさせてほしい。</p> <p>委員) 5年間の利用者増についてどういう人が増えると考えるか。</p> <p>団体) 自主事業の増と個人利用ではプレイルームや図書コーナーの利用者の増を考えている。</p> <p>委員) 事務所が隠れて顔がみえないので、もっとオープンな方が良いと感じる。</p> <p>団体) オープンにしたいのだが、括り付けの棚があり構造上難しい。</p> <p>委員) ハートフルルームの不登校対策について具体的に教えてください。</p> <p>団体) 教育委員会の事業の一環として、先生が地区センターに来て不登校の児童・生徒を学校に戻す取り組みを実施している。場所の提供に協力している。</p> <p>委員) 舞岡高校の男子シンクロがテレビで紹介されていた。高校生が地域で活躍してもらう場があるか。高校との連携はあるか。</p> <p>団体) 中学校や明治学院大学との連携はあるが、高校との連携はない。高校の茶道部と連携をして、和室を活用してもらいお茶会をするなどを今後考えていきたいと思っている。</p> <p>また、当協会全体で区内高校を一堂に公会堂に集めて、ダンスや吹奏楽の演奏会をするなどを今後考えていきたいと思っている。</p>
特記事項	

第2回 横浜市戸塚区地区センター及び横浜市戸塚公会堂指定管理者選定委員会議事録 (上矢部地区センター)	
日 時	平成27年8月28日(金) 10時50分～12時30分
開催場所	戸塚区役所8階 中会議室2

出席者	常盤委員長、大崎委員、柴田委員、吉田委員、藁科委員 区) 地域振興課長 高嶋 区民利用施設担当係長 加藤、栗原、古尾谷
欠席者	なし
開催形態	公開（傍聴者1人） 審議については、非公開
議題	1 定足数確認 2 申請団体によるプレゼンテーション及び質疑応答 3 審議
決定事項	1 定足数の確認 委員全員が出席のため、委員会は成立 2 横浜市上矢部地区センター指定管理者の候補者について 最低評価基準の7割以上を超えたことを確認し、「共同事業体NPOみんなのまちづくりクラブ・NPO建物管理ネットワーク」を指定管理候補者として区長に報告をする。
質疑応答	①「三菱地所コミュニティ株式会社」によるプレゼンテーション10分を実施 【質疑応答】 委員) 千葉や東京での運営実績の中で地元企業との関わりやコミュニティ作りの実例を教えてください。 団体) 区民館では町内会のまつりに参加、もちつき大会の手伝いなどを行っている。 企業連携としては、CSR部門で環境関係事業としてコーヒーチェーン店と連携をし、コーヒーのかすのリサイクルを実施した。 委員) 上矢部地区のコミュニティづくりについて教えてください。 団体) 地域の方と関わりを深め、交流の拠点としたい。 委員) マンション管理業務を行っている上で、マンション内のコミュニティ作りについて、具体例を教えてください。 団体) 子ども向けにはミニまつりや映画、その他防災関係の企画で備蓄品や簡易トイレの使い方講座など顔見知りが多くなる取り組みを実施。 委員) この地域を選んだ理由は。 団体) 戸塚区でマンションを多く管理している。 委員) 地域コミュニティの醸成についてどのように行うのか。 団体) コンサートを地域と一緒に行う。他の地区では、小中学校の方も入っていった。 委員) 利用促進として貴社保有のネットワークを利用とあるが具体的にどのようにPRしていくのか 団体) 広報紙を媒体とし、マンション管理組合を通じて配布。 委員) 連合町内会と繋がりをどのようにしていこうと考えているか。 団体) 連合の会議や行事に出席、共催で実施できる事業を実施するなどを考える。 団体) 地区センターまつり実行委員会に参画してもらう。防災訓練をはじめ、地域との関係づくりは、日常的に行っていきたい。 委員) 女性の活用や女性職員の関与の仕方についてはどうなっているか。

	<p>団体) 女性スタッフに副館長もいる。子育て中の方が働きやすい職場であるように努めている。早番などがあるので、日中勤務にするなど考えていきたい。</p> <p>委員) もし貴社が指定管理者になった場合、今のスタッフはどうするのか。</p> <p>団体) 雇用の確保は大事。これまで培ってきたことを継続することも大事だと考えてするので、引き続きの雇用も考えている。</p> <p>②「共同事業体NPOみんなのまちづくりクラブ・NPO建物管理ネットワーク」によるプレゼンテーション10分を実施</p> <p>【質疑応答】</p> <p>委員) 常駐する職員体制は。</p> <p>団体) 館長、副館長、職員という体制。昼間2人のうち職員は1人とスタッフ1名、夜間は1人。建物管理の職員は常駐していない。</p> <p>委員) こども食堂の具体的な説明をしてください。</p> <p>団体) 放課後キッズがあっても17時で帰る子もいる。地区センターも通常は17時で帰している。家に帰っても就労等で保護者がいない家庭の子もいるので、一緒に食事をつくり、一緒に食べることも食堂を考えている。実費はいただく。地元農家に協力を得られるようにしたいと考えている。</p> <p>委員) 地域の特性でボランティア活動が盛んな地域。地区センターの自主事業から地域のボランティア活動に発展した例はあるか。</p> <p>団体) てくてくマップはとても良い取組である。上矢部高校の生徒がボランティアで参加してくれる。町内の保育資格のある人が託児を手伝ってくれている。町内の方が駐車場の草むしりをしてくれたりもする。</p> <p>委員) こども食堂は毎日開催するのか。</p> <p>団体) 每日ではない。本部予算等を勘定し、利用者会議で一人親家庭、留守家庭等の状況を聞きながら対応する。こども料理教室を活用し、部屋代は減免で実施。</p> <p>委員) 利用者の声からの事業か。</p> <p>団体) 利用者会議で午後からの料理室の稼働率を上げることができ、放課後児童の生活支援ができる案として出た。</p> <p>委員) 自主事業計画の考え方で、地域の人を繋ぐアイデアがあったら教えてほしい</p> <p>団体) 講師は良い人をと思うのだが負担が大きい。今の若い人は活動に入る人が少ない。同じことを定期的に実施し、仲間作りに繋げていく支援をしていきたい。さまざまな教室を実施しているが、教室をきっかけに仲間の輪が広がり繋がりができたこともある。</p> <p>委員) 上矢部てくてくマップはよくできているが、地域のAED設置場所が入っていたらなおよいと思う。</p> <p>団体) 安全マップ中に誰もが入っていける所にあるAED設置場所が入っている。</p> <p>委員) 案内地図に踊場からの行き方が載っていなかった。近いと思って歩いたら遠かった。</p>
--	--

	団体) バス便を掲載するなど今後検討したい。
特記事項	